



東京市場	日経平均	1万3220円07銭 (162円82銭安)
	TOPIX	1122.97 (13.04銭安)
18日17時	対ドル	97円99~99銭 (12銭高)

1 日本リファイン

TODAY

深層断面

活躍の場広がる「ロボット」

ロボットが活躍の場を広げている。製造現場をはじめ医療、建設、生活、エンターテインメントなどでも存在感。生活者のロボットに対する感覚も変わってきた。ロボットビジネスの領域が広がりはじめた。(「Robi」とクリエイターの高橋氏)

- トヨタ、米でレクサス生産
- 日立、ドイツに知財拠点
- 下水処理場改築で設計要領
- 古川製作所、九州北部に進出
- ベトナムでローン窓口倍増
- 貴銅棒、1年8カ月ぶり高値
- モノづくり競争力弱まる6割
- インタビュー
- スマートコミュニティ
- モノづくり日本会議
- 国際/ウイークエンド
- モノづくり

復権モノづくり

景気動向に敏感な中小企業の中には、風の変化を感じ取っている企業も多い。回復期待の高まりとともに、生産や営業の体制を拡充するケースが相次いでいる。

■機能の向上
各種シャフトの製造手がけるミヤシマ(福岡県多良木市)は、生産体制の強化が小ロット対応と印刷(福岡県一社社長)。単なる生産能力の増強ではなく、機能の向上に力をつくす。

第4部 中小にも景気回復の風

は余裕を持たせ、能力の再増強も視野に入れていく。

■新分野に進出
堀江織物(愛知県一宮市)は主力のシルクスクリーン印刷に加え、インクジェット印刷機のオランダ工場への移転拡張なども新工場を導入し、堅牢なローリングマシンへの希望する客層やイラストを高精細に印刷するインテリア向けプリント事業に参入した。従来の広告用とは市場が異なるが「個性的な仕上がり」が個性を打ち出す。マンダ事業部長と経営者、販売面から前向きに動きだすケースもある。新機や

大津文と小ロットを確保し、2万流の体制を整えるミヤシマ

中身の工作機械・工具を取寄せ、小規模機(群馬県藤原市)は、8月までに6億円を投じて本社に工場を建設し、展示面を倍増する。小林文社長は「冷たい実感はまだない」と語る。専用機械の設計製作を手掛ける近藤製作所(愛知県豊田)の近藤豊は「景気回復の恩恵が及ぶのは、半年や1年後にはない。足取りを進めつつある」



鬼怒川コム工業は、ブラジルに工場を建設するほか、ロシアに生産拠点を増やす方針。2014年に稼働する。両国拠点を合わせた年産能力は40万台、現地で生産能力を増強して、日産自動車向けに供給する。

ブラジルには申し出し、14年にはブラジルの生産能力を増強し、ロシアやインドに新工場を建設する。投資額は10億2000万円、年産能力は20万台分。ロシアについては、成形工程を中心とした生産拠点を増強し、段階的に増強してブラジルと同様に一貫生産体制を整える。投資額は10億円、年産能力は20万台分を予定している。

地域経済持ち直し

1-3月期 全地区で上方修正

経済産業省は18日、2013年1-3月期の地域経済調査を発表し、景気判断を前回調査(12月12日)から引き上げた。全国10地区すべてで、10地区中9地区で持ち直し、1地区で停滞と判断された。全国10地区すべてで、10地区中9地区で持ち直し、1地区で停滞と判断された。

「愛用気」に変化

ただこうした企業も周囲を見渡した時の判断は違う。近隣の近隣業務は「顧客があるベアリングやパネのメーカーには、試作品関係の案件が増えている」と語り、「(好調だった)リマン、ショック前に客の需要が似てきた」と、景気の井上期待後はどうなるか、という面が強い。景気回復だが、今回調査では6月に決定する政府の成長戦略を見極めた上で投資を始めるという声も多かった。同様に、今夏には美体や美容に力を入れるという声も多かった。この研究結果は、財の取り扱いは、国内に波及するのではなかろうか(地域経済政策)とみている。

先端可動式内視鏡

世界最細φ2.8mm

価格29.8万円

スペースプラザ

22画

学生への教育は、期待している。

科目が変更される

「知財は知財」

「知財は知財」